



今月のみさとし/感謝の下に努力せば、要求せずとも一粒万倍に生きて来る。(ゴ聖訓第六巻 84 頁)

## 教区五担当者研修

# 「信念一つで万事を開く」目標に研鑽

第2回教区五担当者研修が、各教区の女性・青年・子ども・修法・健康指導の五担当者に教区長を加えた総勢 329 名の参加の下、3月3日～4日に御霊地にて開催された。



目標達成に向けた祈願の宝号千反が会場に響く



青年担当のアイスブレイキング



圏域別に行われた足もみ実習



修法担当員の御五修法業の実修

午前 10 時 30 分開式。拝礼行事、尊者のみ声拝聴の後、渡辺孝彦理事長が、「5つの担当者で協力し合い、次代に繋げていくために、み教を土台として教区・支部を活性化させることが必要」と期待を述べた。その後、西村晴雄教務局長は、「一つひとつの支部の 5 年後、10 年後を踏まえ、支部の活性化に向けて、今、取り組むべき課題を考えてもらいたい」と教区役員役目について述べた。

続いて「五担当者研修を活かす」をテーマに 2 名の実践発表があり、名古屋第 1 教区の小嶋由久副担任部長から昨年実施したファミリーフェスタについて、神奈川教区の一才木克枝健康指導委員から足もみ活動について、それぞれ発表があった。以上の内容をふまえ、午後からは「どのように五担当者を動かし、組織活動に

活かすか」をテーマに各担当別に研修が行われ、ふさわしい内容で構成されたプログラムが組まれた。

1 日目の終わりには夕食懇親会が行われ、圏域毎のテーブルで懇親を深めながら楽しいひと時を過ごした。

2 日目は、宮坂保徳教育部長より「金剛さまが遺されたもの」をテーマに講話から金剛さまのご精神について学び、次に「お浄め」について、大賀光夫修法部長より作法の再確認と注意点を学んだ後、全員で行った。続いて西功義布教本部員より「足もみ」の趣旨説明の後、圏域毎に分かれて実習が行われ、足もみの素晴らしさを体験した。

昼食後は、「支部における五担当者の活用法」をテーマに教区別ディスカッションが行われ、2 日間の学びを参加者自身



実践発表する小嶋由久副担任部長と一才木克枝健康指導委員

がどのように今後の活動に反映させていくかを積極的に話し合い、圏域毎にそれぞれ発表を行った。

最後に、参加者一人ひとりが立てた目標達成祈願の宝号千反を念唱し、それぞれが定めた目標に向けて努力精進していくことを誓った。

佳節の年、更なる飛躍に向かって活性化することが期待される。

津之守弁財天春祭

# 日頃の感謝を申し上げる



3月1日正午より、津之守弁財天春祭が、厳かに執り行われた。

当日は、町会関係、首都圏会員が参列し、長老さまが祝詞奏上、長老さま、稲子知義崇敬会会長はじめ地元荒木町会関係者各位による玉串奉奠が行われ、日頃の感謝を申し上げた。

神明稲荷初午祭

# 好天に恵まれた初午祭



晴天の3月3日、北本スポーツセンター敷地に鎮座する神明稲荷の初午祭が、齋藤全弘相談役をはじめセンターを利用する各団体の代表が参列する中、行われた。

正午に開式。吉田和生北本氷川神社宮司により祭事が営まれ、終了後は食堂を会場に直会となり、親睦を深めた。

解脱選抜少年野球大会

# 40回目を迎えた野球大会



第40回解脱選抜少年野球大会(北本市少年野球連盟主催)が北本スポーツセンターで行われた。北本市を中心に近隣の25チームが集い、3月4日に開会式、10・11・17日とトーナメント方式で熱い戦いを繰り広げた結果、戸二小ジャガーズ(戸田市)が優勝杯を勝ち取った。

解脱練心館46周年記念館内大会

# 50周年に向けて

3月11日、解脱練心館は創立46周年記念館内大会を開催した。

午前9時、第1部開会、田中宏明館長(御霊地局長)は、練心館のこれまでの歴史を振り返り、50周年に向けて一つひと



日頃の成果を称え、特別表彰を受けた卒業生ら

つ謙虚に丁寧に取り組んでいこうと述べた。特別表彰では、少年・OB各門下生の卒業表彰と優秀選手表彰があり、昨年の全

国警察官剣道大会の団体戦3位に貢献したOB門下生の田中晃司さん(神奈川県警察)と全国高等学校剣道大会の男子団体戦3位に貢献した泉英太さんと新井雄大さん(本庄第一高)が表彰された。昇級者発表の後、少年部大将交代式では内村日向君から関根悠成君に指揮刀が手渡された。

第2部・学年別優勝試合では、優勝目指して白熱の錬成試合が繰り広げられ、終わりに成績発表と表彰式が行われた。



少年部大将交代式



門下生が涙ながらに熱唱

第3部・卒業生壮行交流会では始めに、卒業する高校生、大学生、そして小学生、中学生とその保護者が順番に壇上に立ち、練心館での思い出と先輩・先生方への謝辞、そしてこれからの抱負を語った。次に卒業生の保護者、門下生、卒業生が互いに真心を込めた歌とメッセージを溢れる涙と共に贈り合い、最後に卒業生は田中館長の固い握手を受け、門下生らが作った風船のアーチをくぐり、それぞれ次の目標を目指して練心館を旅立った。

中野五柱五成神社初午祭

# 新たに眷族神が鎮座

好天の3月11日、中野五柱五成神社の初午祭が地元町会、商店会の協賛により盛大に執り行われ、近隣住民、北は北海道から南は九州まで全国から教区長や支部長、会員ら総勢400名余が参列した。

午前11時、開会に先立ち、東日本大震災犠牲者の靈魂に黙祷を捧げた後、中野氷川神社中田宮司により厳肅に祭事が進められた。挨拶の中で稲子知義齋主は、新たに五柱五成様の眷族神として本殿向かって左にお社を設け、2月24日に御鎮座祭を行ったばかりの阿波屋稲荷様(=写真左)に触れ、「文政6年、私の先

祖榎谷家の当主と阿波屋呉服店の江藤家当主と共に、京都伏見稲荷に参り御分霊を勧請されて各々の屋敷稲荷とし、共に兄弟稲荷として地域をお守りしてきまし

たが、この度敷地の再開発のため、阿波屋稲荷様を五柱五成様の御眷族神にお迎えしました」と経緯を述べ、「地域社会の守護神としてより一層ご信心ご信仰の程、お願い申し上げます」と述べた。

続いて、小泉博文奉賛会副会長、合澤裕行東北第2教区長、伊藤正信中野区議会議員、渡辺孝彦理事長の来賓挨拶に加え、江藤和郎阿波屋江藤家当主より御礼



の言葉と共に「五柱五成様のお力添えのもと地域の発展に尽くしたい」と挨拶があった。

鏡開きで直会へと移り、参詣者は境内前の道にて振る舞われた樽酒や甘酒、お団子にお寿司等を堪能し、永田秀夫相談役による福引抽選会で盛り上がった。五柱五成様の御神徳を充分に受け、喜びの中、午後1時、終了となった。



## 村上説男先生 逝去される

本会常任理事の村上説男先生が2月18日に霊界入りされた。昭和23年2月14日生まれ。享年70歳。

村上先生は、平成7年10月

兵庫西山崎支部より独立し、福岡宇美支部を設立、初代支部長として会員の指導育成に尽くされるとともに、教区出講員、教区副担任部長、教区

担任部長として九州教区の伸展に尽力された。

また、本部においては、平成15年に理事、平成29年に常任理事に就任された。明朗にして篤実恬淡たる人柄をもって多くの会員を指導された。

## 全国各地で支部長研修を開催

立教90年の本年を勇躍する年にしようと、今年1月より全国各地で「支部長研修会」が開催され、支部長や支部長夫人、支部後継者らが、布教活動方針の達成や支部の活性化など更なる教線伸展に向けて研鑽した。その中から、4カ所の模様を紹介したい。

1月20日、愛知、名古屋第1・第2各教区の中部圏域が中部道場にて開催し51名が

参加。圏域責任者の近藤貞男指導員の下、教区活動目標の確認、支部の諸問題の解決に向けた意識が共有された。

2月25日、神奈川・静岡両教区の湘南圏域が湘南道場を会場に、東京第1から第7、千葉、茨城各教区の東京圏域が本部道場を会場に、兵庫教区がグリーンヒルホテル明石を会場にそれぞれ開催した。

湘南圏域の研修には43名

が参加し、教区担当の木村正則指導員と宮原秀治指導員からそれぞれ支部長の役目の尊さなどについて学んだ後、「よりよい支部づくり」をテーマにディスカッションを行い、み教を次世代へつなぐ意識を高め実践を誓い合った。

東京圏域の研修には、渡辺孝彦理事長、西村晴雄教務局長、圏域責任者の関日出夫指導員が出講。真心と祈りの天茶供養を真剣に行じ支部が躍進した実例が示され、生活行と信仰行の実践を重ねてみ教

えを広める重要さを学んだ。

27名の参加があった兵庫教区では、まず笹倉範久教区長が教区活動目標の一つ「神仏に人々の幸福を祈る」をテーマに真心からの実践の大切さについて挨拶した後、倉田正治教区担当の講話を受けて、明石・姫路・宍粟の各地区に分かれて問題点の提起と方策を具体的に話し合った。

立教100年の大節を迎えた際は更に躍進した解脱会となるべく、全国の支部長たちは意識を高め合っていた。



中部圏域



東京圏域



兵庫教区

### 大宮土呂支部・萬霊供養塔建立開眼式

## 地域の安全・発展を祈る



2月17日、大宮土呂支部は、約70年にわたり地域の安全・発展を祈り、供養を続けている萬霊供養塔を新しくした開眼式・大供養祭を開催した。除幕式の後、秋山惇支部長の表白文、献天茶、焼香と続き、天茶供養三巻を厳修した。

この供養塔は昭和25年に起きた列車事故の犠牲者の慰霊をはじめ土地の萬霊を供養

するため秋山清前支部長が建立したのが始まり。供養塔は永年の風雪により朽ち、同54年に支部会員の御修業によって示され、秋山惇支部長のもと2代目

を建立。お給仕と供養を続ける中、30年以上が経過し老朽。3代目は平成5年に勉強により大宮地区土地関係有縁無縁萬霊供養塔として建立。毎年10月には大供養祭を開催する中、今回の4代目の供養塔開眼式となった。

当日は先代支部長の祥月命日にあたり秋山支部長は感慨深く式典の開催を喜んだ。

### 沖縄南城準支部設立記念感謝会

## 敬神崇祖の心を子供たちへ



昨年の第171回秋季大祭において設立が認証された沖縄南城準支部では、設立記念感謝会を2月18日に当準支部御神前にて開催した。

設立を祝して日の丸が玄関前に掲げられる中、本部より松田佳高指導員が出講、武井達郎地区担当、支部長家族をはじめ、沖縄の各支部長や幹事、法縁者、当支部会員、総勢43名が集った。

挨拶に立った梅木慶喜支部長は「未来を担う子供たちへ、敬神崇祖・感謝報恩の心、思

いやる心、譲る心を伝承して参る所存」と力強く誓った。

講話では松田指導員が法縁者にも分かりやすく本会について述べ、続いて挨拶に立った武井指導員は円満な家庭を築く大事さを訴えた。

直会では、支部長らから祝辞や激励の言葉が次々と述べられ、更なる発展の期待が寄せられていた。

## 第2回 ミャンマー・スタディツアー 2018



©japanheart.org

ドリームトレインの子供たちに踊りとダンスを披露した



無事に帰国した団員と迎えてくれた仲間たち



団員を温かく迎え入れてくれた子供たち



ドリームトレインで子供たちと全力で遊ぶ



©japanheart.org

視覚障がい者のマッサージに癒される団員



日本人墓地で真心の祈りを捧げた

本会の報恩行の一つ、「副食を献じる運動」(青年部は「まごころ募金」)の献金支援先となっているNPO法人・ジャパンハートの協力により昨年からは行われている青年本部主催「ミャンマー・スタディツアー」が、今年は3月2日～9日に開催された。

今回は、団長に杉山泰則青年副本部長、事務局1名、そして米国からの参加者を含む全12名が参加した。

2日に結団式を行い、3日に出国しヤンゴンに到着。4日に日本人墓地の慰霊供養をした後、ジャパンハートが運営する孤児等の養育施設「ドリームトレイン」を訪問し、3日間子供たちとふれあい、ボランティア活動を行っ

た。6日は視覚障がい者自立支援施設・マッサージトレーニングセンターを見学し、7日は飛行機でマンダレーに移動。ジャパンハートの医療拠点「ワッチェ慈善病院」を訪れて見学とボランティア活動を行い、その後、ジャパンハート最高顧問・吉岡秀人医師に直接お話を伺うことができた。8日はサガインの日本人墓地にて慰霊供養し、9日に無事に帰国、本部道場で解団式を行った。

団員たちの感想は次の通り。ドリームトレインでは、「素直な心と笑顔の子供たちに感動し、心が洗われた」。視覚障がい者自立支援施設では、「障がい者のための環境が遅れていて、その不自由さに心が痛んだ」。ワッチェ慈善病院では、「多く

の日本人看護師が言葉の壁を乗り越えて真心で患者に接し、最低限の医療器具で工夫して治療していた」。吉岡先生とお会いしての感想は、「自分の可能性を信じる話に勇気と希望をもらった」。日本人墓地の慰霊では、「お霊魂のお蔭で平和な日本があることを知った」。全体を通しては、「どんな小さなことでも感謝を忘れないという現地の人たちの優しさや思いやり、元気な笑顔に感動した」。

帰国後は、「自分の生活を見直して改善し、全てのことに感謝して一日を大切にしたい」などの感想が寄せられた。生き生きとした眼差しに変わった団員たちの今後の活躍が期待される。

## 奉祝立教90年 第172回 春季大祭日程

- 5月8日(火) 9:30 奉告祭
- 10:45 万部御法楽 (於五智如来堂)
- 11:30 大祭本祭
- 12日(土) 9:30 支部認証式  
(支部用御祭神下附、御五法・御秘法授与)
- 11:00 大祭式典
- 14:00 解脱金剛奉賛会幹事会
- 13日(日) 11:00 大祭式典 (来賓招待)



### 参加教区

- 5月12日(土) 埼玉、甲信、茨城、千葉、東京第1、東京第2、東京第3、愛知、名古屋第1、名古屋第2、神戸、兵庫、中国第一、中国第二、四国東、四国西、九州、沖縄
- 5月13日(日) 北海道東、北海道南、東北第1、東北第2、新潟、群馬、東京第4、東京第5、東京第6、東京第7、神奈川、静岡、北陸、滋賀、京都、大阪、和歌山

## 書道を楽しみませんか!



解脱書道会の会報「大雁」第155号が発行されました。あなたも書道を始めませんか。まずは封筒に「会報希望」と朱書きし、82円切

手2枚を同封して、「大雁」を下記へ請求してください。

〒160-0007 東京都新宿区荒木町4  
解脱書道会事務局